



郵便博物館と鉄道博物館

夏休み中に、2学期に行われる小学部低学年の校外学習の下見に郵便博物館と鉄道博物館に行きました。両施設とも有名な観光名所ではありませんが紹介します。

郵便博物館は、カイロ中心部の中央郵便局の2階にあります。入場料は2LE（約23円）でとても安いです。展示スペースはさほど広くはありませんが、多くの展示品が所狭しと並べられています。エジプトの郵便の歴史を中心に、世界の主な国の切手やポスト、郵便に従事した方の制服などが展示してあります。エジプトは、今でも鳩を飼育（食用）している人が大勢います。昔は、その鳩を伝書鳩として、通信手段にしていたようです。その後、ナイル川を利用した船や鉄道へと変化していく様子が、模型を用いて展示してあります。

中には、写真のように日本のポストや切手もありました。外国で、日本の文字や日本の物に出会うと、なぜだかとてもうれしくなります。別室には、戦前のもと思われる古い切手も収蔵されていました。

鉄道博物館は、ラムセス中央駅（写真左下）に併設されています。ラムセス中央駅は、日本でいえば東京駅のような存在です。この鉄道博物館は、平成28年3月にリニューアルオープンしたばかりなので、とてもきれいでした。入場料は10LE（約115円）で、2階建ての展示スペースには、実物の汽車や鉄道模型、切符や車内のランプなどの実物がとても見やすく展示されています。英語ですが、無料で説明をしてくださる方もいます。

エジプトの鉄道は、北はアレキサンドリア、南はルクソールと主にナイル川に沿って敷かれています。日本でいう特急列車も走っています。私は、まだ地下鉄にしか乗ったことがありませんので、いつか、鉄道の旅をしてみたいと思っています。



一時帰国しました

8月に約3週間、一時帰国しました。約1年半ぶりの日本でしたが、東京や新潟の風景を懐かしく眺めました。その中で特に感じたことは、日本の緑の美しさでした。エジプトは砂漠が多いので、植物の緑をあまり見ることはありません。日本の自然の豊かさを改めて実感しました。